



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>
e-mail : koe@siminnokai.com

2022年 平和のための戦争展 第27回

第27回平和のための戦争展 in 北九州が8月27、28日、八幡西区黒崎の黒崎コムシティで開催され、2日間で約300人が会場を訪れました。三輪俊和実行委員長は「憲法9条こそ、アジアと世界の平和な未来を輝かせている。」憲法を守り活かす、平和の道を堂々と歩む、平和憲法を未来に繋いでいこう」と開会あいさつ。平和のうたごえはメンバー作詞の「ウクライナに平和を」などを披露しました。

六本松総合法律事務所の井下顕弁護士が「ロシアのウクライナ侵略問題と憲法9条改正問題」について記念講演。井下弁護士は「ロシアのウクライナ侵略は明確な国際法違反、これは明確にしておかないといけない」と指摘。ウクライナ侵略に便乗した9条改憲を許さないため、「国政選挙がない黄金期間の3年間に必ず憲法改正を仕掛けてくる。大事なものはそれまでに何をすべきか。草の根からの運動が求められている」と呼びかけました。

対談企画では8月25日に閉館した「北九州平和資料館」管理人の小野さん、大石市議会議員、同館の小松さんが、同館閉館までの経過や、北九州市における平和運動を振り返り、小野さんは「これから大事なのは子どもたちにどう伝えていくのか。新たな展示施設もできるので、頑張ってもらいたい」と話しました。



平和のうたごえ



井下 顕 弁護士



三輪 俊和 実行委員長



北九州平和資料館・対談企画



2023年 北九州市長選

候補者選び大詰め

「平和とくらしを守る北九州市民の会」の第31回幹事会が8月25日夜、市立戸畑生涯学習センターで開催され、来年1月に予定されている北九州市長選挙の情勢、候補者選定の見通しなどについて報告がありました。約20人が参加。市民の会・候補者選考小委員会での北九州市長選の候補者選びは大詰めを迎えており、9月中に決定したいとの方向性が示されました。



活発な議論が行われた幹事会

第31回幹事会で、三輪俊和事務局長が2021年の経過報告・活動総括、2022年の活動の方針を報告。活発な意見交換がおこなわれ、全会一致で承認されました。

来年初の北九州市長選挙をめぐるのは、すでに出馬表明する候補者が現れて、現職の北橋健治市長の動向もマスコミ報道されるなど、動きが活発になっています。当日の幹事会では、市民の会作成の「討議資料」が配布され、市長選挙に向けた政策作りを各団体で進めることが確認されました。「市立学校の特別教室へのエアコン設置」「教室にはタブレット保管スペースなどが増えて狭くなって



討議資料

る。30人学級を求めべき」「補聴器を購入したがかなり高額。耳が聞こえづらくなると認知症も進むと言われている。購入への補助金制度をつくってほしい」など多くの政策要望の声があがりました。9月末までに各団体で意見をまとめて、市長選挙の政策づくりに活かすこととなります。

原発なくせ 安倍国葬やめろ



第478回 さよなら原発！金曜行動



平和ネット 19日定例街宣

8月19日17時半から、小倉駅で、「さよなら原発！北九州連絡会」の金曜行動が取り组まれました。全国の運動に呼応する金曜行動は、北九州市では、478回を重ねます。リレートークと署名活動をし、「原発なくせ！」のコールで閉めました。

18時15分からは、「平和をあきらめない北九州ネット」の19日定例街宣が取り组まれました。安倍国葬反対のチラシを配布、この日も大きな立て看板が目立ちました。

沖縄知事選 デニー氏圧勝 辺野古ノー3連勝

県議補選 快佐氏勝利 与党過半数



当選確実の報道を受け、喜びあう玉城デニー知事（中央）と支援者＝11日、那覇市

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設の是非が最大争点となった沖縄県知事選が11日、投開票され、新基地断念を訴えた「オール沖縄」の玉城デニー知事（62）が再選を果たしました。岸田自公政権が全面支援し、辺野古新基地推進を真正面に掲げた前宜野湾市長の佐喜真淳氏（58）に6万4923票差で圧勝。2014年11月の翁長県政以来、「オール沖縄」が3連勝し、「辺野古ノー」の民意は国家権力総がかりでも押しつぶされないことが示されました。

10月の那覇市長選に立候補する翁長雄治前県議の辞職に伴う県議補選も同日投開票され、「オール沖縄」の上原快佐（カイザ）氏が初当選しました。県議会で議長を除く議席数が24対23となり、デニー県政を支える与党が引き続き過半数となりました。

デニー知事は当選後の記者会見で、「間違いなく辺野古の新基地建設が大きな争点だった」と指摘。「これまで翁長雄志知事、私の前回の選挙、県民投票の7割以上の反対の声、そして今回の明確な争点となった私の2期目の再選。この県民の思いは1ミリもぶれていない結果だ」と強調しました。また、「これからも誰一人取り残さない誇りある豊かな沖縄を目指して前進したい」と語りました。（しんぶん赤旗より）

学校ウォッチングを実施

8月23日午前中、思永中学校に新婦人・福健労・出口市議7人で訪問しました。



思永中学校前で新婦人・福健労

星加教頭先生が対応。学校の建物はPFI事業で2009年九電工が建て替え名義・管理等も同社で、校舎も定期的に改修されていてとても綺麗でした。

プールは思永中学・西小倉小学校・市民と共用で管理運営は西日本スイミングが行っています。しかし、特別教室（理科室や家庭科室・・・）にエアコンがなく新設を。また、各教室の古いエアコンの入れ替えが必要でした。特に不備等の指摘はなく要望のみでした。教頭先生との懇談の中で、「女子トイレへ生理用品設置」については、保健室に完備し必要な子供に渡しており、トイレには置いていない、ということでした。

午後は日明小学校。肘井校長先生が対応し校舎内案内、説明を受けました。全校生徒492人児童数が多くトイレの増設が必要でした。（和式から洋式へも）

指摘事項

①プールサイド排水溝の段差・剝離改修が必要

他の要望は、教員数が多く駐車場スペース拡充のため、利用されていない小動物小屋を駐車場に・特別教室にエアコン設置・教室備え付け棚を広い物に・教職員の休憩室が必要と思いました。校長先生との懇談で読売子ども新聞については、学事課（読売無償提供）から受け取り、内容はチェックしていない。4～6年生に配布。「女子トイレへ生理用品設置」については、保健室に置いている。小学生なので生理についてあまり理解していない、先生の管理・運営が大変とのことでした。

（新婦人こくら北ニュース No584 より）

八幡市民会館の活用を求める連絡会 記録冊子完成へ



9月15日（木）、第71回目となる「連絡会」がひらかれました。2時間をかけて、記録冊子（パンフレット）の最終校正がおこなわれました。メインタイトルは「文化と記憶の継承に向かって」、サブタイトルは「八幡市民会館と八幡図書館を残すための活動の記録」。8年半の活動をまとめ上げた珠玉の冊子が、いよいよ完成します。納品は10月7日。

次回連絡会は、10月6日（木）13:30 大谷市民センターで開催します。

第10回北九州人権問題公開座

9月4日（日）、今年で10回目となる北九州人権問題公開講座が開催されました。講師は岩岡美咲さん。演題は「重度障害者を排除する構造」です。



岩岡さんは、高校2年夏の国体で、跳馬競技中の事故で重度障害者になりました。しかし、そこから未来の希望をみつめ自分らしく生きる自立の道を明るく元気に切り拓いてこられました。

講演内容は、1章自己紹介、2章日常生活、3章私のなぜ？、4章今とこれから、でした。

参加者全員、スライドを使ったお話に聞き入りました。その後、多くの方が感想を述べたり、質疑応答をしました。

地域社会でお互いの人権を認め、共に生きていく大切さを共有することができた有意義な2時間でした。

9条の会・北九州憲法ネット第19回総会

記念講演

憲法をめぐる重大局面と運動の展望

—ウクライナ危機の教訓をふまえ—

2022年10月1日（土）13時30分開場
北九州市立商工貿易会館2階ホール



講演講師
川田忠明氏
（日本平和委員会常任理事）

（講演は14時30分頃から予定）

資料代500円

講師からの断り
「参議院選挙の結果、衆参両院で改憲と軍拡をめざす勢力が3分の2を占める結果となり、憲法改定の動きは極めて重大な局面を迎えています。しかし、世論の動きを見れば改憲派の矛盾と弱点が現れます。また、ロシアがウクライナの侵略を開始してから半年以上が経ちますが、その教訓も明らかになってきています。軍事同盟での対抗、軍事対軍事が、戦争を招き、市民に甚大な被害をもたらしているのです。日本にとって戦争を起こさない最大の力は、憲法をフルに生かした外交です。そのことを皆さんと一緒に考え、改憲を許さない世論を広げていきたいと思います。」

主催 小倉北区田町13-21 田町ゼル3F TEL 592-5000

共催 9条の会・北九州憲法ネット

北九州憲法共同センター

ご案内



8月27、28日に開催された「第27回平和のための戦争展 in 北九州」のニュースが完成しました。市民の会ホームページにも掲載しております。ぜひご覧ください。